

令和 元年度 3月

# 能登高だより



～ 臨時増刊号 ～

石川県立能登高等学校

927-0433 石川県鳳珠郡能登町字宇出津マ字 106-7

TEL:0768-62-0544 FAX:0768-62-2935

ホームページ <http://www.ishikawa-c.ed.jp/~notoxh/>

(ブログ <http://blog.goo.ne.jp/notokoukou/>)

メールアドレス [notoxh@m1.ishikawa-c.ed.jp](mailto:notoxh@m1.ishikawa-c.ed.jp)



## 祝・第九回卒業証書授与式挙行政

令和 二年 三月 三日 (火)

### 式辞

能登の豊かな里海ではキラキラと目映い白波が春の陽光を反射して輝き、能登の豊かな里山では鶯の優しいさえずりがフキノトウの芽吹きを誘っています。そして能登の学びの里、ここ能登高校におきましては、本日、保護者・ご家族の皆様のお臨席を賜り、石川県立能登高等学校 第九回卒業証書授与式をこのように晴れ晴れしくも厳かに挙行できます事は、この上もなき喜びと、教職員を代表いたしましたして、厚く御礼申し上げます。

ただ今、六十三名の卒業生に、本校における教育課程を修了したことの証(あかし)として栄(は)えある卒業証書を授与致しました。卒業生の皆さんは、三年前に本校に入学するとすぐに、その持ち前の明るさ、素直さ、元気で「能登高校の風」を呼び起こしてくれました。そして、この三年間、石川県内に留まらず、幾たびも北信越、全国に能登高旋風を巻き起こし、能登高校の名前を全国に轟かせてくれました。文武両面における皆さんの活躍振りは、能登高便りや本校のホームページ、新聞、テレビ等で華々しく伝えられてきましたが、三年間、能登高生・鳳凰(ほうおう)の雛鳥(ひなどり)・鳳雛(ほうすう)として本当によく頑張り、新しい能登高校の伝統を創造してくれたと、心から感謝しております。ありがとうございます。そして本日の巣立ちの日に、皆さんは美しく気高い鳳凰となつて、この学び舎から天高く飛び立っていきま



保護者・ご家族の皆様にとりましても、今日の喜びは格別のことと存じます。十八年間の子育てが高等学校卒業という大きな節目を迎え、目の前の美しく、そして凛々(りり)しく成長したご子息・ご息女の立派なその姿に、幼き日の愛くるしい笑顔や無邪気な寝顔が重なり、喜びもひとしおのことと存じます。心よりお祝い申し上げます。ご卒業、おめでとうございませう。

また、能登高校を応援する会 会長の谷内與三郎様は、先日お会いした際に、皆さんの勉強・部活動・学校行事や生徒会活動などにおける活躍振りに目を細めて、大変喜んでおられました。卒業生の皆さんが三年間行ってくれた地域貢献プロジェクトは、書道、バフオーマンスや能登高商店、除草活動やクリーンビーチなど、地域の方々から頂いているご支援への感謝の気持ちとして、これからも全校をあげて積極的に取り組んでいきたいと思ひます。

## 旅立ちの日 「巣立つ「鳳の雛」たちへ祝福を」



さて、先月の三年学年集会の前に、私は卒業生の皆さんのことを「優しい」、英語では Tender, Considerate です、と言おうと原稿を準備していました。すると、その日は連絡の手違いから一組生徒達が二度着替えなおすことになり、集会に少し遅れてしまいました。一組の生徒は誰一人、不平や不満など一言も言わずに、みんなが遅れを取り戻そうと一生懸命に駆けつけてくれました。そして、二組の生徒達もいつもの通りに五分前には集合していましたが、何事もなかったかのようにずっと静かに待っていてくれました。皆さん一人ひとりが相手のことを思い遣るさりげない優しさを身につけていることに、私は改めて感動するとともに、自分の目に狂いはなかったと、私に教師としての喜びと自信を持たせてくれた卒業生に、感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。

そのような優しく強い皆さんではありますが、人生百年これから先の皆さんには様々な吉凶禍福(きつきょうかふく)が巡ってくると思います。近年、世界中で発生している大規模な自然災害は地球温暖化によるものと懸念されていますし、昨年一二月に中国武漢で発生した新型コロナウイルスは、あつと言う間に世界中で大混乱に陥らせています。しかし、皆さんは、どのような状況下にあっても、自分らしく正しく生きて、家族や友人、地域社会の平和と安全を守ることが出来るものと私は確信しています。なぜなら、卒業生の皆さんは、本日をもって、能登高校の校訓「自主・協調・創造」の免許皆伝だからです。「自主」とは、周囲に惑わされることなく、自主的に正しく判断・行動すること。「協調」とは、偏見や固定観念を捨てて、多様性を認め合っており、仲間とともに互いに切磋琢磨して自己実現を果たすこと。「創造」とは、豊かな学びと経験から得た知見で、日々新しい自分と新しい世界を創造することです。

皆さんはこれから、二十代、三十代、四十代と年齢を重ねていきますが、「自主・協調・創造」によって、常に新しい自分を創造し、新しい世界を幸せに生きていく力を持っています。そのような人生は、たとえ九十歳でも、百歳になったとしても、毎日が楽しく、わくわくする人生だと確信しています。時には、辛いことや苦しいこと、悲しいこともあるかもしれませんが、それもまた人生をより一層豊かにしてくれるスパイス(人生の隠し味)です。「自主・協調・創造」が幸せで生きがいのある人生の秘訣です。大切に胸にしまっておいてください。

最後に、皆さんの未来に幸多からんことを祈念し、式辞といたします。

令和二年三月三日

石川県立能登高等学校長

上野 創

答 辞

暖かい日の光が降り注ぎ、桜の蕾も膨らみ始め、春の訪れを感じる今日、私たちのために、盛大な卒業式を挙げてくださり、誠にありがとうございます。

先生方をはじめ、たくさんのご来賓、ご父兄の皆様にご臨席いただき、卒業できることを、卒業生一同を代表し厚くお礼申し上げます。

思い起こせば三年前、私たちはまだ名も知らぬ仲間とともに、これから始まる新しい未来への大きな期待と、それと同じくらい大きな不安を抱き、能登高校に入学しました。様々な地域から来た学生がいる私たちのクラスは、良い意味で個性的な仲間が集まっていました。生い立ちは違っても自分と同じような話題に興味を持ち、悩みを持つ仲間にも困れながら今日まで勉学に励んできました。

一年生のころは知ることにより一生懸命でした。足元の覚えない毎日が新鮮で、それはもうぎこちないものでした。そんな時に、そつと手を差し伸べて、過ごし方を教えてくれた先輩方のおかげもあり、学校生活の土台作りができたと思います。



3年間の思いを「答辞」込めて読む竹口陽平君



そして一年の月日が経ち、二年生になった私たちは学校生活にも慣れ、修学旅行を通じてより一層仲を深めることができました。その証拠に体育祭では、生徒一人ひとりの応援が良い雰囲気を作り、クラス全体が一丸となって取り組むことができました。しかし良いことばかりではありませんでした。授業中では、つい友達とおしゃべりをしたくなったり、悪ふざけをして物が壊れたりなど、学校の中で気分が浮かれていたが故の大きな過ちを犯してしまいう一面も見えました。

それからまた一年と月日が経ち、最上級生として振舞うようになったことをきっかけに、大きなトラブルは起きなくなりました。高校最後の能登高祭では、今まで以上の団結力が発揮され、これぞ三年生だと思わせるくらい、一、二年生のころに比べ成長した姿を見せることができました。楽しい行事は終わり、自分たちの進学先、就職先を決めなければならないシーズンに突入したころ、受験勉強や面接練習に頭を抱える日々が続き、募る焦りを隠せない時間を過ごしていました。そんな時、学校では同じ境遇に悩む仲間と高めあい、不安を分かち合うことで心を強く保ち、家ではそつとそばにいて優しく話を聞いてくれた家族の温かさが安心感を与えてくれました。



この三年間、楽しかったこと苦しかったこと、様々な感情を乗り越えて、今この場にいます。何気ない日々の積み重ねがやがて大きな思い出となり、思い出すたび、仲間と交わした言葉を懐かしく感じます。馬鹿をして笑った思い出、無理して意地張った思い出、互いに慰めあった思い出。そんな思い出の数々が私たちを強くしました。

**在校生のみんなへ**

とにかく何かにチャレンジしてみてください。メモを取る習慣をつけたり、ネガティブなことと言わないようにしたりなど、小さなことでもいいです。とりあえずやってみると結構面白いですよ。もちろん失敗することもあります。でもその失敗が大人になって自分の武器になります。がむしやらに挑戦しましょう。



**厳粛な雰囲気の中、卒業生たち一人ひとりの呼名が続く**

**先生方へ**

授業態度が悪くて、しまいにはT.T、いやT.Tに発展するくらい迷惑をかけたこともありましたが、少しでも楽しく学べる授業にしようと工夫してくださったり、放課後付きっきりで相手をしてくださったりと、本当にありがとうございました。

**同級生のみんなへ**

ついに、お別れですね。別々の進路になるけど三年間、共に切磋琢磨した日々は思い出として心に残ります。会えない友の分まで私たちは成長を続け、自立することが出来たら、いつかまた笑いながら思い出話でも語りましょう。三年間本当にありがとうございました。

**家族へ**

ここまで充実した生活を送ることが出来たのは、紛れもなく家族のおかげです。慰めてくれた時もあれば、間違った方向に進ませないために叱つてもくれましたね。普段感謝することが恥ずかしくてなかなか言えずにいたけど、このような場だからこそ言います。今まで育ててくれてありがとう。これからもよろしく。

高校生の終わりになって、もっと勉強しとけばよかったとか部活もっと頑張れたなど今更になって思いが込み上げてきますが、能登高校で得られたものは沢山あったので充実していたと思います。

卒業後は今まで以上の困難が待ち受けていることでしょう。それでも前に進まなければならぬ。いつまでも止まっているわけにはいかない。私たちの戦いはこれからです。先の見えぬ旅に歩いていく決意を込めて、答辞といたします。

令和二年三月三日

第九回卒業生代表 竹口陽平

尽きせぬ思いを胸に、今、旅立ちの時……



～感謝の気持ちを思い出の歌に込めてみんなで歌った「正解」～

【送辞】

暖かい春の香りが感じられる今日の佳き日に、能登高校を巣立っていかれる三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。希望を胸に能登高校の門をくぐってから三年、様々な思い出がよみがえってきておられることと思います。私たちが先輩を思うとき、いつも「勇猛」という言葉が思い浮かびます。その言葉の意味通り、先輩方はいつも勇ましく、何事も恐れない勇氣に満ち溢れているように感じていました。目を閉じると私たちが在校生にも先輩方と共に過ごした数々の思い出が蘇ってきます。

能登高祭では各々の進路で忙しく、限られた時間の中であっても準備や練習に焦る素振りも見せずいつでも先頭を切って私たちを引つ張ってくださいました。当日の合唱コンクールでは、力強く、でもどこか優しい歌声で会場を感動で包み込んでいましたね。歌い始めてから歌い終わるまでの自信に満ち溢れたみなさんの顔は今でも私たちの目に焼き付いています。部活動では、それぞれの部が目標に向かって一生懸命で、その姿がかつこよく、憧れで、胸が熱くなることもありました。地域創造科の先輩方には私自身、直接関わる機会をあまり得ることができませんでしたが、先日行われた課題研究発表がすごく心に残っています。私たちには計り知れない皆さんの努力や試行錯誤を繰り返して作られた発表。そして、それを私たち一人一人の印象に残すような堂々たる話し方。皆さんの練習を重ねてこられたのだと感じ、大変興味深く感じられました。また、どちらの学科においてもそれぞれの進路に向けて自主性、主体性をもって準備を進められていましたね。みなさんの雰囲気や学校全体の雰囲気を創り上げ、私たちの進むべき道を照らしてくれていたように感じていました。今こうして振り返ってみるとその時には伝えることのできなかつた感謝の気持ちが胸に込み上げてきます。私たちの良いお手本であり、憧れでもあつた先輩方からは皆さんの大切なことを学びました。本当にありがとうございます。今年、二〇二〇年夏には東京オリリンピックの開催を控え、日本中がその日を待ちわびています。日本人選手のメダル獲得や、海外の方々との交流、日本経済の発展が期待される一方、少子高齢化による雇用の不安定さや自然災害など多くの問題を抱えています。ここからの社会を担っていく中で、先輩方は皆さんの予期せぬ困難を乗り越えていかなければなりません。そのような時こそ、先輩方が培ってきた視野の広さや行動力を活かし、目標に向けて一歩ずつ進んでいってください。その先にはきっと大いなる可能性と明るい未来がみなさんを待っていると信じています。私たちが在校生も先輩方が築いてこられた活気ある能登高校を守り、そして更なる発展を目指し、先輩方を超える勢いで前に進んでいくことをここに約束します。

令和二年三月三日

在校生代表 小谷内 瑠捺



令和元年度 各種表彰者氏名 ※皆さん、受賞おめでとうございます。

皆勤賞	大屋 飛斐	富士 鈴奈	松崎 雅	水元 陽菜
	道下 晟多	山口 菜摘	中町 真澄	屋敷 綜司
精勤賞	干場 永遠			
体育功労賞	勝又 凜	谷内 和希	吉田ちはる	曾山 結心
	高 陽介	中田 優衣	野呂 育摩	道下 晟多
	牧 和音	角 亜由奈	中町 真澄	平瀬 輝幸
文化功労賞		白崎 未来	紙谷 龍平	
生徒会功労賞		河本莉里沙	竹口 陽平	
産業教育振興中央会賞		竹口 陽平		
全国農業高等学校長協会賞		出村 有斗		
商業教育研究賞グロリア賞		紙谷 龍希		
全国水産高等学校長協会賞		瀧 響		
全国福祉高等学校長会理事長賞		中谷 優花		

